

研修内容

科	期間	研修内容
新人研修センター他	3週間	他職種の新入職員とともに、病院職員として最低限必要な知識、態度、技能を身につけるため、講義、討論、実習を含めた研修を行う。
内科	24週	<p>外来勤務は指導医の下に病歴聴取、基本的診療・検査の知識・技能を修得する。病棟勤務は指導医の管理のもとに入院患者を受けもち（原則として10人以内）、一般臨床医として必要な診療・検査の知識・技能を修得する。内科症例検討会、各種カンファレンス、CPC等の教育行事に積極的に参加する。</p> <p>ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、終末期の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う。</p> <p>また、脳梗塞・脳出血、認知症、心筋梗塞、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、COPD、胃癌、消化性潰瘍、胆石症、大腸癌、腎孟腎炎、尿路結石、腎不全、糖尿病、脂質異常症を有する患者の診察にあたる。</p>
救急科 麻酔科	16週 (麻酔科 3週間) (1年次に7週と副日当直、7週相当、2年次に6週と日当直4週相当)	<p>救急外来で指導医のもとに1次及び2次救急の診療を研修し、初期対応の態度・技能を身につける。救急入院患者については、その経過を見ながら研修するとともに集中治療の実際を学ぶ。</p> <p>毎朝の救急カンファレンスで症例提示をし、また知識、態度を身につけていく。毎年5～6月に1か月間毎日行われる救急勉強会に参加し、知識を身につける。</p> <p>ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、熱傷・外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、妊娠・出産、成長・発達の障害、終末期の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う。</p> <p>また、脳梗塞・脳出血、脳動脈瘤・くも膜下出血、認知症、心筋梗塞、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、COPD、胃癌、消化性潰瘍、胆石症、大腸癌、腎孟腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折・捻挫、糖尿病、脂質異常症、気分障害、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物）を有する患者の診察にあたる。</p> <p>気管内挿管を十分経験する。</p> <p>術前、術後の診療を含め、手術麻酔について研修する。</p> <p>時間的余裕があればペインクリニックの研修を行う。</p>
地域医療	6週	<p>近隣の診療所での実際を経験し、在宅医療について理解する。べき地医療、リハビリテーション、または緩和ケアを行っている病院で診療の実際を経験する。地域医療連携についての知識を深め、地域での住民に接する態度を身につける。</p> <p>健診活動について研修する。</p> <p>ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、熱傷・外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、成長・発達の障害、終末期の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う。</p> <p>また、脳梗塞・脳出血、脳動脈瘤・くも膜下出血、認知症、心筋梗塞、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、COPD、胃癌、消化性潰瘍、胆石症、大腸癌、腎孟腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折・捻挫、糖尿病、脂質異常症、気分障害、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物）を有する患者の診察にあたる。</p>
小児科	4週	<p>小児の病歴聴取法、基本的診察法と臨床検査の選択と解釈、及び治療法の知識、技能を修得するとともに、小児の救急、薬用量、小児保健等について研修する。</p> <p>発疹、黄疸、発熱、頭痛、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、呼吸困難、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、成長・発達の障害を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う。</p> <p>また、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、腎孟腎炎を有する患者の診察にあたる。</p>
外科	4週	<p>一般外科を中心に研修する。チーム医療の一員として入院患者を受け持ち、術前検査・処置、手術助手および術後管理まで一貫した研修を行う。各種カンファレンスには積極的に参加する。</p> <p>ショック、体重減少・るい瘦、黄疸、発熱、吐血、下血・血便、嘔氣・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、熱傷・外傷、興奮・せん妄、抑うつ、終末期の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う。</p> <p>また、胃癌、消化性潰瘍、胆石症、大腸癌を有する患者の診察にあたる。</p>
産婦人科	4週	<p>産科・周産期に関する研修および特殊性のある産婦人科の疾患について、適切なプライマリー・ケアができる能力を習得する。</p> <p>体外受精等の不妊症治療、悪性腫瘍の集学的治療等について習得する。</p> <p>妊娠・出産の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う。</p>
精神科	4週	<p>北信総合病院または千曲莊病院または篠ノ井橋病院にて病棟研修を行い、受け持ち患者について研修をする。</p> <p>精神科外来を中心に臨床精神学における全般的な診断、治療について研修するとともに、病棟研修は上記の協力病院にて行い、精神科疾患の理解と、精神科診療の知識・態度・技能について研修する。</p> <p>体重減少・るい瘦、もの忘れ、興奮・せん妄、抑うつを呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う。</p> <p>また、認知症、気分障害、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物）を有する患者の診察にあたる。</p>
外科系 脳神経外科 整形外科他	6週	<p>救急の研修の一環であり、それぞれの科の特徴を理解し診療の実践に当たる。</p> <p>研修項目として必要な処置、検査を経験し、疾患の理解を深める。</p> <p>ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、熱傷・外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う。</p> <p>また、脳梗塞・脳出血、脳動脈瘤・くも膜下出血、認知症、心筋梗塞、心不全、大動脈瘤、肺癌、腎孟腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折・捻挫を有する患者の診察にあたる。</p>
選択科	33週	原則として1科から6科までを選択でき、1科は4週間以上とする。各科の指導医、上級医とともに、その科の特性を知る一方で、臨床医として必要な基本的態度・技能・知識についても再度研修し確認する。